

Title	出世に不利な環境の下でトップリーダーになるための条件 - 女帝武則天に学ぶ -
Sub Title	
Author	武, 海英 渡辺, 直登
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2104号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2104

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	研究会	学籍番号	80430798	氏名	武 海英
<p>(論文題名)</p> <p>女性リーダーになるための条件 - 武則天に学ぶ</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p>I 問題意識</p> <p>日本での3年間の留学生活及びアルバイト経験を通じて、日本女性の社会的な存在は中国とかなり違っていることを深く感じた。中国では、1920年代から封建社会システムが解体され、女性の社会的な地位が段々に上がり、80年代になってから、社会のあらゆる場において、女性は男性と同じく扱われるようになった。学歴及び能力が同じであれば、就職チャンスも同じく、昇進においても男女間の区別がない。一方日本では、90年代に入って、社会進出の女性が増えてきた。労働厚生省はこのような女性達を支援するために、1984年雇用及び職場においての男女差別条項を禁じるように「均等法」などの法律を立っていた。とは言え、それらの法律条款をマネージメント制度に組み入れ、忠実に実施する会社がまだまだ多くないというのが現状といえよう。</p> <p>能力をもっているのに、それを発揮させる場がなければ、本人としても、社会としても大きな損失だと筆者は思う。1,350年前に、今日の日本社会よりも男性中心な社会に、全ての障碍を排除し、皇帝の座まで登っていた中国女性がいた。環境に順応するよりも、自分の意識によって環境を変革し、自分の人生を最大限に生かした女傑である。</p> <p>II 研究目的</p> <p>武則天は古今東西の歴史において、女傑中の女傑であることは既に述べていた。では、彼女はなぜ、又は、どうやって宮仕えの女という低い地位から女帝まで登っていただろうか。また、彼女の性格特徴、及び物事の運ぶ方法から、今日のキャリア女性は何を学べるだろうか。それを明らかにすることは本研究の目的である</p> <p>III 研究方法： 文献研究</p> <p>武則天の一生をケースにする。作成したケースをベースに、彼女が取っていた行動と策略を分析しながら、彼女の資質及びリーダーシップを整理する。最後に女性リーダーになるのに、必要となる条件を結論として出す。</p> <p>IV 結論： 女性リーダーになるための条件を明らかにする</p> <p>資質： 知力： 物事を進む際の注意点： 組織を動かす能力：</p>					